※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　工業科（生活デザイン系列）

教科	工業	科目	（学）ＡＤ実習	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３学年までに学習した基礎的な技術を応用して造形に関連する実習を行う。本実習では、ＣＡＤや各種の表現方法を学習して課題製作に取り組む。

工業製品（インテリア生活用品）や建築空間に関する課題製作のために必要な基礎的な知識と技術を習得する。実習で使用する用具の使用方法を身につけて、表現方法も工夫しましょう。

住宅や身近な工業製品､作品例などを観察してどのように作られているか考える習慣を身につけましょう。

製作技術や材料についての知識を学習して自ら考えた作品を作ることを目標にします｡また専門教科に関する座学で学んだことを活用して学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

- 生活デザインに関する幅広い創作活動に関心を持ち様々な技法を身につける。生活の中にある建築やデザイン製品の意味を理解し､いろんな表現方法の技術を身につける｡建築や身近な生活のなかで使用する工業デザイン製品に関心を持ち観察する習慣を身につけるようにする。
- 実習課題では建築物や工業製品を参考に課題作品を製作する。作業工程を立案して製作に必要な技術と計画する力を養う。実習を通じて計画したことを他者に伝えることができる力を養う。
- 自らデザインした作品を作る工程を考え製作過程で生じる問題解決のため思考し判断できる力を身につける。また､完成した課題作品について製作過程や完成度について振り返りを行う態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	建築やデザインに関する知識を応用する能力があり課題作品の中で表現・作成する技術を身につける。 環境に配慮し、建築やデザイン、インテリアに関するものづくりを合理的に計画し作成する技術を適切に活用することができる。	これまでに身につけた基本的な知識と技術を応用して適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付ける。 製作過程における問題を解決できること、解決の過程や結果を総合的に考察し判断することができる。	建築物やインテリア作品を表現するために主体的に取り組む意欲を持ち実践的な態度を身に付けようとしている。 実習課題に対して主体的に興味・関心を持ち意欲的に取り組む姿勢をみる。問題解決の過程を振り返り考察を深め評価･改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	実習課題Ⅰ	1. 表現方法 CAD 実習 色彩実習 その他の表現方法 2. 作品例の観察、学習課題製作Ⅰ	a:作品を作るにあたり必要な諸事項についての知識と基本的な技術を身につける。 b:作成しようとする作品に対する要素を研究する。製作工程をプランニングして必要な手法を判断し、用具や材料を選択することができる。 課題作品を製作するにあたり問題点を思考・判断して解決することができる。 自分の考えた計画を表現して他者に伝えることができる。 c: 実習について主体的に興味・関心を持ち,作品作りに意欲的に取り組むことができる。作業を振り返り問題点を改善しながら課題に取り組む態度を身につけようとしている。	作品の完成度 実習態度	作品の完成度 実習態度	実習態度 振り返り

※令和４年度以降入学生用

後期	実習課題Ⅱ	3. プランニング 4. 課題制作Ⅱ	a:作品を作るにあたり必要な諸事項について研究し知識と基本的な実習技術を身につけており応用することができる。 b:製作作品に対してリサーチするなど情報を収集して製作工程を計画して必要な手法を判断し、用具や材料を選択することができる。 作品を製作するにあたり問題点について思考・判断して解決することができる。 自分の考えた計画を言葉にして表現することができる。 c:工業デザインについて主体的に興味・関心を持ち，作品作りに意欲的に取り組むことができる。作業を振り返り問題点を改善しながら課題に取り組む態度を身につけようとしている。	作品の完成度 実習態度	作品の完成度 実習態度	実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度